

NEWS RELEASE

平成 19 年 4 月 24 日

市光工業株式会社

ICK002

市光工業株式会社

超静音設計の電動格納ユニットを開発

～これまでの電動格納ミラーの騒音エネルギーを 90%低減～

市光工業株式会社（本社：品川区五反田、代表取締役社長：市川 侑男、以下市光工業）では、超静音設計の電動格納ユニットを開発しました。このユニットの開発により、これまでのミラー電動格納ユニットの騒音エネルギー(*1)を 90%以上低減（人の聴感では 60～70%の低減となります。）することを可能としました。

市光工業が開発した超静音設計の電動格納ユニットは、これまでの静音設計ミラーの作動音を 15 デシベル(*2)低下させ、「人間のささやき声」のレベルに達することに成功しました。この静音化には、従来のモーターを改良し、ギアの工作精度を上げるなど、ユニット内の細部に至るまでの改良を施し、これまでの静音設計の電動格納ユニットのなかでも最も低い作動音のユニットの開発に至りました。

市光工業では、1987 年に世界で初めて電動格納ミラーを開発し、高級車から軽自動車に至るまで、様々な車種に搭載し、普及させてきました。その後、約 20 年に渡り、車体の性能向上に伴う、車両騒音の低下に対応し、電動格納ミラーのさらなる改良に努め、軽量化や低コスト化など、市場の要求に応えるべく技術革新を重ねています。電動格納ミラーの作動音の不快な音質の改善を図ることで、今後さらなる需要が見込まれるハイブリッドカーや高級車への納入を見込んでいます。

$$(*1) \text{騒音エネルギー低減率} (\%) = \left(\frac{1}{\frac{\text{音圧差}}{10}} - 1 \right) \times 100$$

(*2) デシベル「dB」とは、電圧や電流、電力、電波、音量などの量を比較するために対数を使って表す比率のことで、音の強さ（音圧）を表す際に使用されている。

(参考)

市光工業株式会社（以下、市光工業）は、1930年に設立以来、自動車用ランプとミラーの純正専門メーカーとして、トヨタや日産をはじめとする国内すべての自動車メーカー及びGMやダイムラークライスラーなどの海外主要自動車メーカーに製品を納入してきました。その歴史は長く、1932年には初代ダットサン（日産）ヘランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納ミラー、また、次世代の光源として注目されているHIDヘッドランプなど独自の製品開発を主体的に行ってきました。これらの製品開発により、今日では国内において、自動車用ランプで27%、ミラーで34%といった大きなシェアを誇っています（2006年実績）。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問合せ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL: 03-3443-7281

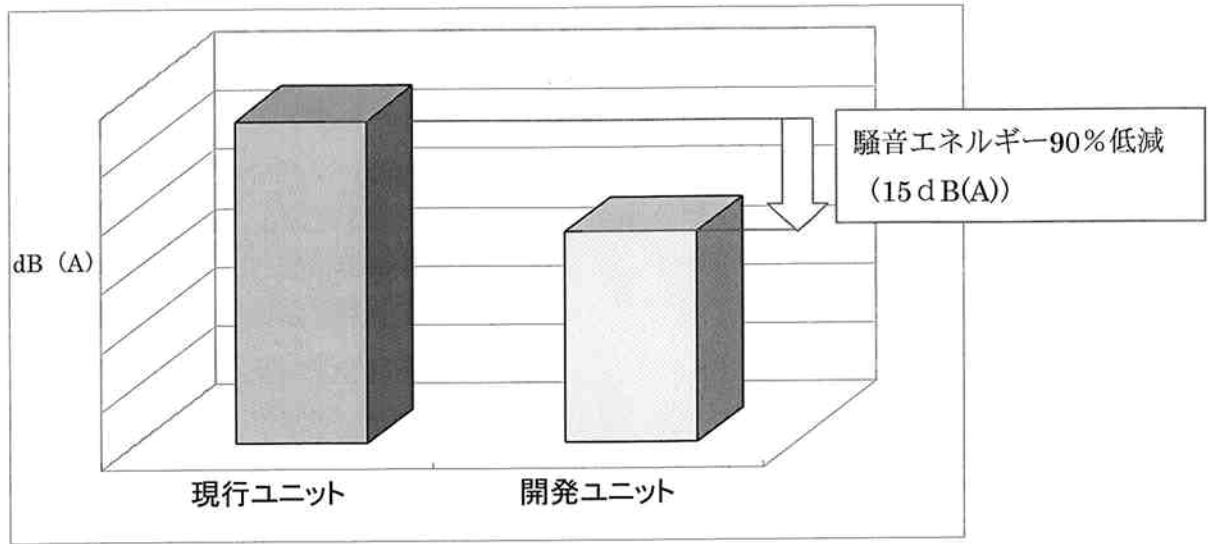
報道関係からの問合せ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL: 03-3433-7281

(株)VAインターナショナル
田中/川崎

TEL: 03-3499-0016
FAX: 03-3499-0017

図



市光工業の電動格納ユニットの音圧の変化

写真



電動格納ユニット



駆動ギアモジュール